

日本看護管理学会学術集会

インフォメーションエキスチェンジ3

日時: 2026年8月21日(金)
15:30~16:30

会場: 東京国際フォーラム 第4会場
(ホールB5-1)
定員: 200人(先着順)



テーマ

令和8年度診療報酬改定

—看護関連の施設基準管理 その影響と対策—

令和8年度診療報酬改定は、2040年を見据えた医療提供体制の再編を目的とした政策的インパクトの大きい改定となりました。とりわけ、急性期医療に「急性期病院A/B一般入院基本料」が新設され、今後、自院がどのような医療機関を選択するのか、どんな役割を担うのか方向性を明確にする必要があります。

またサードレベル修了者の配置が望ましい要件として初めて盛り込まれ、看護・多職種協働加算をはじめとした適切な人員配置管理、入退院支援加算による地域連携の強化など、自院の病院機能に沿った高度な看護マネジメントが求められます。

このセッションでは、現場からの実践報告を踏まえ、施設基準管理の運用課題と今後の政策的方向性から、看護管理者がどのように意思決定を行うべきか、未来を見据え議論を深めます。

■座長 国際医療福祉大学大学院 教授/ 副大学院長 福井トシ子氏



■話題提供者

① 改定における看護管理への影響
—施設基準管理を中心に—

株式会社ウォームハーツ 代表取締役
一般社団法人日本施設基準管理士協会 理事
長面川さより氏



② 改定を契機とした多職種協働による
医療提供体制の再設計
—急性期病院 (ケアミックス型)における影響と取り組み—

社会医療法人財団董仙会
恵寿総合病院 看護部長
阪口智恵氏



<第3回 看護職の施設基準管理士のつどいのお知らせ>

8月20日(木) 18時から、東京・銀座で、看護職で施設基準管理士の方々(資格に興味のある方も大歓迎)の交流会を開催いたします。会費は5500円。上記の講師も参加予定です!!



※ご希望の方は、8月7日(金)までに、当協会HPの「お問い合わせ」から備考欄に「看護職の施設基準管理士つどい希望」と書いてお申し込みください。後日、会場をお知らせします。